

## 府中市放課後子ども教室の取組

開催教室：栗生小学校区わくわく子ども教室

日時：平成24年2月8日（水） 15:45～17:15

場所： Kultopia 栗生

チーム名：OBA58 3名（福山市立女子短期大学）

参加児童数：9名

内容：工作・絵本の読み語り・リズム体操

栗生小学校区わくわく子ども教室では、「OBA58」を招いて鬼の福笑い、「泣いた赤鬼」の絵本の読み語り、「鬼のパンツ」のリズム体操の活動が行われました。

### ○ 活動の様子



2月ということで、「節分」をテーマにした活動が行われました。はじめに、大学生から「赤鬼」「青鬼」「緑鬼」の鬼の福笑いの説明がありました。



子どもたちは、「赤鬼」「青鬼」「緑鬼」の3チームに分かれて、鬼の「角」「目」「鼻」「口」などを作りました。そして、「角」「目」「鼻」「口」などが完成したチームから「鬼の福笑い」がはじまりました。各チームとも、とっても楽しい「鬼の福笑い」になりました。



「泣いた赤鬼」の絵本の読み語りでは、子どもたちがとっても目を輝かせて集中して聞いていました。



子どもたちは、「鬼のパンツは、いいパンツ、強いぞ、強いぞ♪♪」の歌詞に合わせて、「鬼のパンツ」のリズム体操を大学生と一緒に楽しく踊っていました。とっても盛り上がり、子どもたちや大学生の笑顔が印象的でした。



最後に、各チームから「鬼の福笑い」の紹介がありました。世界にひとつだけのオリジナルの「赤鬼」、「青鬼」、「緑鬼」の福笑いが完成しました。この「青鬼」は、「豆を顔に当てられて痛くて涙が出ちゃった。鼻から血がタラ〜ン!!」と子どもたちが話してくれました。

#### ○学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

普段、小学生と関わる事が出来ないのので、とても良い経験になりました。今回、準備してきたものを子どもたちに楽しんでもらってとても良かったです。子どもたちは、「鬼のパンツ」のリズム体操でとっても盛り上がってくれて、私たちも楽しかったです。

今回のボランティアを通して、たくさんの勉強になりました。本当にありがとうございました。

#### ○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

- ・ 子どもたちは、ボランティアの方の話をよく聞いてゲーム（福笑い）を楽しんでいました。
- ・ 子どもたちの目が輝いて、絵本を静かに聞いているのでびっくりしました。
- ・ 子どもたちにとって若いお姉さんたちは新鮮で年齢も近い分楽しそうでした。
- ・ 子どもたちは、大学生にすぐ馴染んで、一緒に遊んでいました。私の印象では、子どもたちと大学生の年齢が近いことと、子どもたちを惹き付ける能力が凄いと思いました。
- ・ 子どもたちが興味を持つ素晴らしい内容でした。
- ・ 子どもたちのいつもとは違った笑顔を見ることができました。
- ・ 大学生ボランティアは、テキパキと内容を考えてくださり、子ども一人一人に話しかけてくださいました。
- ・ 子どもたちがまさにわくわくとして遊び、読み聞かせ、リズム体操と続けて1時間を集中できました。